

フィールドビンゴの実施方法(グループで実施する場合)

出発前

- (1) グループ分けをして、ビンゴカードを配る。
 - ※ 1人1枚。グループの中でできるだけ、お互いに並びの違うカードを渡すとよい。
数パターンの並びの違うカードあり
- (2) ゲームのやり方を説明する。
 - ① カードに書いてあるものを見つけたら(聞こえる、感じる)、グループ全員で確認すること!! 全員が確認ができたならそれぞれのカードに○をつける。
※例えば、「におい」などグループ全員がいいにおいだと思えば○
 - ② たて、よこ、ななめ1列そろったらビンゴ。16マスなら10ビンゴでパーフェクト!!
 - ③ ゲームの楽しみ方について(例)
 - ・早さを競うゲームではないので、時間いっぱいたくさんの自然と触れ合ってください。また、他の班の気づかないような見方や感じ方ができると楽しいと思います。「こんなの見つけたよ!!」最後にみんなに紹介してくれるとうれしいです。
 - ・自然の中で、「きれいだな」「これはすごいな」「はじめてみた」……、何か自分たちだけの宝物をみつけてみよう!
 - ④ 地図を各班に配り、活動範囲と制限時間を確認する。
 - ※ シートを自分でつくり、まん中の項目を「本日のスペシャル」などにしてもおもしろい。
 - ※ 活動中に、グループで「グループの宝もの」を1つ決め、他のグループに紹介しあうなど、実施方法を工夫するとグループの独自性がでておもしろい。
 - ※ 特に制限を付けずに、オリエンテーリングやウォークラリー、ハイキングに持って行き個人や班で行う事も可能。
- (3) 注意事項を確認する。
 - ① 必ずグループでまとまって行動すること。
 - ② 活動範囲と時間を守って、安全に行動すること。
 - ③ 舗装された道路は一般の車が通るので、交通安全に気をつけること。
 - ④ 動植物の中には、刺されたりかぶれたりするものがあります。むやみにさわないようにすること。例 ヤマウルシ、ヌルデ、マムシ、毒蛾などの幼虫
※ 必要なら写真等で注意をする。
 - ⑤ 必要以上に植物をとらないこと。(手にとって感触を確かめたり、においを確かめたりする時などは採集してもよい。必要以上にとりすぎないこと。)
生き物は確かめたら、もとの場所に返すこと。

活動のまとめ(ふりかえり)

- (1) 活動の共有をする。(例)
 - 例1 時間内にどうしても見つからなかったものはありますか?
※ 見つけたグループがあれば、どこにどんなものがあつた(いた)か発表してもらう。
 - 例2 「○○」について、どんなものを見つけた(感じた、聞いた)か教えてください。
※ 同じ項目でも、班(人)によって見方や感じ方に違いがあることに気づかせる。
 - 例3 自分たちの見つけた自然の中の宝物をみんなに教えてください。
 - 例4 何か活動中にすてきなものを見つけられましたか?
 - 例5 この活動(フィールドビンゴ)でどんなことが楽しかったですか?
- (2) 得点(ビンゴの数)を計算する。
 - ※ 1マス10点、ビンゴになっていればプラス10点(16マスなら最高点 160点+100点=260点)
 - ※ 各班の人数が同じであれば、班の合計で競うのもおもしろい。
 - ※ パーフェクト賞、9ビンゴ、8ビンゴ……、点数や賞は団体で自由に設定してよい。
- (3) 先生(講師)話
 - ・グループ活動としてのまとめ
 - ・活動したエリアの自然に関する事
 - ※ 思ってもなかなか発表できない子もあるので、時間があればふりかえりシート等を書いて振り返ることも有効です。

補足 ビンゴカードについて

施設に準備してありますが、団体でアレンジしてもよい。ホームページよりダウンロード可